

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	選択中国語第二		
英文授業科目名	Elementary Chinese (Elective) II		
開講年度	2004年度	開講年次	1年次
開講学期	2学期	開講コース・課程	昼間コース
授業の方法		単位数	1
科目区分	総合文化科目-言語文化科目-言語文化応用科目 I I		
開講学科・専攻	情報通信工学科 情報工学科 電子工学科 量子・物質工学科 知能機械工学科 システム工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	姚 毅 (学内連絡教官 湯川 敬弘)		
居室			

公開E-Mail	授業関連Webページ

<b>【主題および達成目標】</b>
中国語の発音・基礎文法を習得し、実用中国語技能検定試験の一番下の5級、出来れば準4級に合格できる力をつける。

<b>【前もって履修しておくべき科目】</b>
特に無し

<b>【前もって履修しておくことが望ましい科目】</b>
特に無し

<b>【教科書等】</b>
1回目の授業で指定する。

<b>【授業内容とその進め方】</b>
前期に習った発音と基礎文法を復習しながら、簡単な会話や文章に重点を置いて、場面を想定し繰り返し練習することによって中国語での表現力をしっかりと身に付けさせる。なるべく小道具などを使って中国に対する認識や親しみを深める。

## 電気通信大学 平成16年度シラバス

### 【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

期末テストに平常点(出席時数及び授業に取り組む態度)を加味して評価する。

### 【オフィスアワー：授業相談】

適宜相談に応じるが、電話などで事前にアポイントを取ること。

### 【学生へのメッセージ】

「単位が取りやすい」などを選択理由とするのではなく、「中国(語)に興味関心がある」、「将来中国と関連ある仕事をしたい」など意欲的理由で中国語の勉強に臨んで欲しい!先生も諸君のこういう意欲と興味を引き出そうと努めたい。中国語圏に属する十数億の人々が諸君とのコミュニケーションを楽しみにしています!中国語圏に属する国と地域とのビジネスが諸君を待っています!

### 【その他】